

平成 27 年度 蔵書診断(教育関連) 結果報告

診断領域 教育(NDC370～379.9)
診断者 岐阜県図書館職員 3名
診断時期 平成 27 年 12 月 1 日～平成 27 年 12 月 24 日
診断方法 各分野の開架の蔵書を診断者が確認し、蔵書の専門度、気づいた点を蔵書評価書に記入する。

評価内容

370 教育

- ・県教育ビジョンの重点となっている「学力向上」に関連する資料の充実を。
- ・その分野に初めて触れる人が手に取ってみようとする本はかなり少なく、古い。
- ・まずは、教育論に関する新しいものを入れることをすすめたい。

371 教育学

- ・実践事例や体験談などの本を増やせるとよい。
- ・教育者にとっての新しい情報がほしい。冊数よりも鮮度。

372 教育史

- ・国やテーマ毎に並べると見やすい。それに応じたプレートもついていると更に分かりやすい。
- ・ノルウェーなどの教育先進国の図書がもう少しあるとよい。

373 教育政策・制度

- ・教育法令などは、毎年新しいものを入れると良い。
- ・読む人が教育関係者に限られる分類であるが、教育制度など一般の方々にも関心を持ってもらいたい分野なので、池上彰の本など、著名人が書いた本を入れるのはどうか。

374 学校経営・管理

- ・現在、岐阜市のすべての学校で導入されているコミュニティ・スクール関係の本の充実を。
- ・冊数が多い分、細分化された見出しがほしい。
- ・特別支援教育における養護教諭の役割に関する資料もほしい。

375 教育課程

- ・教員が活用できるものが多いが、古いため現在の教育課程にそぐわないものが多い。論文を書いたり、変遷を知るなどの活用はできるため開架へ入れ、改訂にあわせて更新し開架へ。
- ・グローバル教育支援という点では、375.89(英語教育)の図書を増やすとよいのでは。

376 幼児・初等・中等教育

- ・イラスト集など実践的なものが多く、学校関係者は活用しやすい。
- ・この分類の図書は(374とともに)5年以内くらいのものでそろえたい。
- ・留学本も数多くあり、1に該当すると思われる、保護者などに活用してほしい本である。

377 高校・大学・専門教育

- ・大学の教授などに活用されそうなかなり高度な専門書が圧倒的に多い印象を受ける。
- ・高校生には大学の魅力、大学生には社会に踏み出すにあたっての就活本や将来に魅力を感じることの(助けになる)本をそろえたい。
- ・概論的なものが多く、読まないものがほとんど。実践関係のものがほしい。
- ・就活本が少ない印象。自己分析やエントリーシートに関する本需要は高いが、県レベルでは必要ないか？

378 障がい児教育

- ・教員、学生向けのもので、保護者も手に取れるように、易しい印象のタイトルを増やしたい。最も悩んでいるのは保護者のはず。
- ・インククーシブ教育や、ユニバーサルデザイン関係のものを増やしたい。

379 社会教育・しつけ

- ・家庭教育、子育てについて国別に排列するのもおもしろい。

その他

- ・分類を細分化した箇所には、細分化に対応した小見出しプレートが欲しい。小見出しがないと書架内の構成が分かりにくく、本が探しにくい。

[今後実施予定]

- ・上記の最新にしてほしい資料および充実させたいまたは不足している資料については出版状況および蔵書構成等を加味し選書、購入していく。